

平成20年3月期 第3四半期 決算発表参考資料

1. 業績

(単位:億円, ()は売上高比率)

	前第3四半期 (18.4~18.12)		当第3四半期 (19.4~19.12)		増 減	増減率 %	通期予想 (19.4~20.3)		増減率 %
売上高	(100.0)	13,920	(100.0)	14,773	853	6.1	(100.0)	20,000	6.5
営業利益	(4.7)	659	(5.0)	733	74	11.2	(4.8)	950	5.6
経常利益	(6.4)	897	(7.3)	1,073	176	19.6	(6.0)	1,200	10.6
当期純利益	(3.7)	515	(4.7)	690	175	34.0	(3.5)	700	17.7
為替レート		US \$ 116円		117円	1円			115円	
		ユーロ 148円		163円	15円			159円	
設備投資 (うち海外設備投資)		895 (213)		749 (181)	△ 146 (△ 32)	△ 16.3 △ 14.7		1,200 (200)	△ 7.0 △ 24.0
減価償却費		544		607	63	11.6		900	20.9
総資産	(前期末)	35,858		34,148	△ 1,710	△ 4.8		—	
純資産		18,104		17,102	△ 1,002	△ 5.5		—	
自己資本比率		48.8%		48.4%				—	
連結子会社数		162社		161社	△ 1社			—	
持分法適用会社数		21社		15社	△ 6社			—	

(注) 子会社であるトヨタ インダストリーズ スウェーデン(旧BTインダストリーズ)グループは、前期に決算期を従来の12月(1月~12月)から3月(1月~翌年3月)に変更しております。前第3四半期は同グループの18.1~18.12の12ヵ月分を含んでおり、決算期変更による影響(18.1~18.3の3ヵ月)を除いた増減および増減率は、次のとおりです。
売上高 1,490億円 11.2%、営業利益 93億円 14.6%、経常利益 203億円 23.4%、当期純利益 187億円 37.3%

2. 部門別売上高

(単位:億円, ()は構成比)

	前第3四半期		当第3四半期		増 減	増減率 %	通期予想		増減率 %
自動車	(24.9)	3,466	(24.8)	3,656	190	5.5	(24.7)	4,930	4.8
エンジン	(8.8)	1,229	(8.9)	1,313	84	6.8	(8.9)	1,780	6.3
カーエアコン用コンプレッサー	(12.2)	1,700	(12.9)	1,913	213	12.5	(12.8)	2,570	9.1
鋳造品・電子機器ほか	(1.7)	234	(1.8)	265	31	13.4	(1.7)	340	7.2
計	(47.6)	6,630	(48.4)	7,150	520	7.8	(48.1)	9,620	6.3
産業車両 ※	(41.7)	5,807	(39.1)	5,773	△ 34	△ 0.6	(39.8)	7,950	3.6
物流	(4.6)	638	(5.9)	878	240	37.7	(5.8)	1,160	29.7
繊維機械	(3.1)	425	(3.3)	487	62	14.8	(3.2)	650	11.3
その他	(3.0)	418	(3.3)	483	65	15.6	(3.1)	620	6.2
合計	(100.0)	13,920	(100.0)	14,773	853	6.1	(100.0)	20,000	6.5

※ 子会社決算期変更による影響を除いた増減および増減率は、産業車両 603億円 11.7% です。

3. 販売台数

(単位:千台)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減	通期予想	増 減
	車両				
ヴィッツ	138	134	△ 4	186	4
RAV4	122	115	△ 7	157	△ 11
マークXジオ	-	19	19	25	25
計	260	268	8	368	18
エンジン	359	379	20	512	23
カーエアコン用コンプレッサー	万台 1,488	万台 1,645	万台 157	万台 2,204	万台 158
産業車両 ※	164 (142)	150	△ 14 (8)	205 (12)	△ 10 (12)
エアジェット織機	7.7	7.5	△ 0.2	10.1	△ 0.5

※ ()内は、子会社決算期変更による影響を除いた数値です。

4. 経常利益の増減要因

(単位:億円)

増益	合理化	135
	売上げの増加	120
	為替変動による影響	25
	営業外収支の増加	110
計	390	
減益	減価償却費の増加	63
	人件費の増加	45
	原材料の値上がり	20
	諸経費の増加	59
	子会社決算期変更による影響	27
計	214	
差引き経常利益の増加	176	

(注) 当第3四半期は、特別利益(投資有価証券売却益) 58億円を計上しております。